



上田 Ueda Asuka 明日香さん



8月10日開催の振興会夏祭にてダンス披露



ダンス仲間の後輩達と一緒に
(上田さん：上段右)

表現する楽しさ追い求め

自分の個性や人間性をリズムに合わせて自由に表現する踊りをジャズダンスといます。小学1年生からジャズダンスを始め、将来はプロダンサーを目指す1人の若者、上田明日香(18)さんからお話を伺いました。

小学1年生の時に親戚のお姉さんがジャズダンスを習っていたので、見学に行きました。お姉さんの踊る姿を見て「カッコいい!!」と思ったのがきっかけで、ジャズダンスを始めました。自分も同じように踊りたくて、練習も休まず通い、11年間、続けています。思い通りに振付が出来ず、何度もスランプを経験しましたが一度も辞めようと思ったことはありません。踊っている時が一番楽しいので、今まで続けることが出来たと思います。また、町内のイベントでは、あそ雪の広場や当別町文化祭等に出演しています。100%実力を出し切るのは

難しいですが、見学してくれた方から、励ましの言葉をかけていただくと嬉しいですし、もっと練習をして上手くなり、お客さんに喜んでいただけるダンスを披露したいと思いますね。

憧れのダンサーは特にいないのですが、ダンスのDVD鑑賞をする度に、切れのある動きや表現力の高さにレベルの差を痛感しています。昨年、知り合いから紹介されて、上京して2日間、プロのチアリーダーの方から指導を受け、本格的なダンスを学ぶことができました。たった2日ですが、貴重な体験、良い刺激を受け、私にとって一生忘れられない思い出になりました。その後、進学、就職…悩みましたが、どうしてもダンスの道を進みたい。一度きりの人生、夢を諦めたくない。どうしてもプロダンサーになりたいんです。その夢を実現させるためにも、自分のスキルアップを目指し、本場アメリカにダンス研修

生として行きたいので、今はその夢の実現に向け、一步一步準備を進めています。

後輩に声をかけ、月に数回、自宅前にて練習をしています。私自身がこれまで習得してきたダンス技術や感じる部分を少しでも伝えてあげたいと思い、自分の練習も兼ねて教えています。後輩が上手くなれば、私も負けられないので、互いに競い合うわけではありませんが、良い意味で相乗効果が生まれてくれると思います。これからもダンスを通して色々な方と触れ合い、後輩達とも仲良くしながら頑張りたいと思います。

誰もが一度は将来なりたい職業を夢見たと思います。人それぞれ違いはありますが、上田さんのように一途に自分の夢を追いかけて日々、努力する若者の皆さんをこれからも応援したいと思います。
(8月13日取材)